

あかね雲

2023.5.10

No.185

出雲市 / 立久恵峽

令和5年度 通常総会特集

- ◆令和5年度通常総会プログラム……………P2
- ◆会長あいさつ……………P3
- ◆第一号議案……………P5
名誉会員の推薦(案)
- ◆第二号議案……………P6
令和5年度改選役員・推薦委員の選任(案)
令和6年度代議員・予備代議員の選出について(案)
- ◆令和5年度重点政策・重点事業、重点課題、
基盤強化事業の概要……………P9
- ◆令和5年度事業計画……………P16
- ◆令和5年度収支予算の概要……………P25



島根県看護協会の基本理念

基本理念とは、価値判断の基準であり、組織の方向性を示し、優先順位を判断し、すべての活動を正しい方向に導く最上位に位置する考え方です。

本会の基本理念は、「使命」「活動理念」「基本戦略」から構成されます。使命とは島根県看護協会の目的を示し、活動理念とは使命を達成するための活動方針を示し、基本戦略とは使命を効果的に達成するための実現手法を示すものであります。

1. 使 命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- ・教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- ・看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- ・人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

2. 活動理念

- ・看護職の力を変革に向けて結集する
- ・自律的に行動し協働する
- ・専門性を探求し新たな価値を創造する

3. 基本戦略

看護の質の向上、看護職の働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の3つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図るものである。

令和5年度
公益社団法人 島根県看護協会通常総会プログラム

日 時 令和5年6月17日(土) 13:30~16:00
場 所 ビッグハート出雲 白のホール 出雲市駅南町1丁目5番地

12:40	開 場
13:25	オリエンテーション
13:30	開 会 物故会員への黙祷 会長あいさつ 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露 島根県看護協会会長表彰 各種表彰受章(賞)者の披露
14:00	議長団選出 議事録署名人決定 令和4年度総会議事録朗読 議決事項 第一号議案 名誉会員の推薦(案) 第二号議案 令和5年度改選役員、推薦委員の選出(案) 令和6年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出(案) 令和5年度選挙管理委員の任命
14:30	令和4年度報告事項 事業報告 職能委員会報告 常任委員会等報告 支部活動報告 委託事業等報告 議決事項 第三号議案 令和4年度決算報告(案)及び監査報告 令和5年度報告事項 重点政策・重点事業並びに事業計画 支部事業計画 資金収支予算及び収支予算
15:50	新役員紹介 退任役員への謝辞、退任役員あいさつ 協会歌静聴 副会長閉会あいさつ
16:00	閉 会

令和5年度 島根県看護協会通常総会の開催にあたって



公益社団法人島根県看護協会 会長 秦 美恵子

会員の皆さまには日頃より看護協会活動にご支援ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が確認されてから、3年以上に及ぶ月日が経ちました。何度も押し寄せてくる感染拡大の波に対峙しながら、それぞれの場で業務に最善を尽くしていただいた全ての看護職の皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。令和5年の5月8日より、新型コロナウイルス感染症は従来の2類相当から5類へと移行しましたが、感染症が終息したわけではありません。本会におきましても、基本的な感染対策を行い事業を進めてまいります。引き続き皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

令和4年度から重点政策・重点事業、重点課題、基盤強化事業の枠組みに整理し、事業を進めています。令和4年度は4つの重点政策、11つの重点事業を計画し、新型コロナ7波8波の影響を受け一部中止した事業もありますが、概ね予定通り実施いたしました。特に保健師職能と助産師職能が合同で取組んでいる「母子支援のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進」や3職能合同で取組んだ「新型コロナウイルス感染症への取組みと課題」等の事業を通して、職種間の相互理解と連携強化に繋がりました。また、かねてから取り組んできました、認定看護師教育課程の県内開校につきましては、今年度から島根県立大学で感染管理認定看護師教育課程が開校されました。在宅医療の要として期待がかかる訪問看護に関しましては、「島根県訪問看護支援センター」が設置され、本会が受託することになりました。いずれも現場のみなさまの声が力となり、本会の使命である「看護の質の向上」に繋がる体制作りができたことを嬉しく思います。

また、新型コロナウイルス感染症が世界規模で蔓延した状況下で、奇しくも看護職の働きが社会から注目されました。そのことが新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関の看護職の賃上げに繋がる措置となり、さらに多くの病院等で参考にされている「医療職俸給表(三)」の級別標準職務表の見直しとなりました。この機会を逃さず、各施設における看護職の処遇改善に繋がるよう、本会も日本看護協会と共に取組みます。

国は、近年の大規模災害や感染症の発生状況から、災害と感染症に対応する看護職員の養成・派遣・確保を一体的な仕組み作りに動き始めました。本会も、災害と感染症に対応する看護職員の養成に着手します。県行政との連携を図りながら、体制づくりを進めていきます。

今年度の通常総会は6月17日(土)午後から、ビッグハート出雲で開催いたします。私は、平成29年6月に島根県看護協会長に選出いただいてから、早や6年が経ち、最後の通常総会を迎えることとなりました。任期6年の約半分を新型コロナ感染症と向き合いながら過ごしましたが、会員のみなさまのご支援ご協力のもと任を務めることができました。心より感謝申し上げます。通常総会をもって役員は新体制となりますが、バトンをしっかりと繋いで「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」が提供できるよう、看護の量と質の確保、看護職が働き続けられる環境等会員のみなさまと共に事業を進めて参ります。今年度もよろしくお願いいたします。

令和4年度からの 重点政策・重点事業、重点課題、基盤強化事業について

公益社団法人日本看護協会は、令和4年度から「重点政策・重点事業」と「重点課題」「基盤強化事業」に位置づけ、取り組むことになりました。これを受けて、本会理事会においても協議を重ね、令和4年度から枠組みを変更して取り組んでいる。

【重点政策・重点事業】

これまでの取り組みを評価した上で、概ね3年間で具体的な成果がイメージでき実現に向けての取り組みが現実的に事業化できるものとする。令和5年度は2年目となる。

【重点課題】

極めて重要であるが、短期間で全てを実現できるとは限らず、関係者間の合意を十分得た上での法律改正等を目指すものとする。

「看護基礎教育制度改革の推進」は日本看護協会の方針のもとに、公益法人移行以前より長年取り組んできたが、法律改正等の問題であり、短期間で成果が上げられない課題であるため、令和4年度から「重点課題」として取り組む。

【基盤強化事業】

組織運営の基盤を確実に効率的に推進するためのものとする。

● 組織強化に向けた入会促進

令和元年まで会員数は増加し続けてきたが、令和2年度以降微減傾向にある。看護職の働くフィールド、働き方も多様化する中で、看護職能団体として会員を増やし組織強化を図り使命を果たす。

● 適切な会館管理・運営

昭和58年に島根県看護協会研修センターが新築され、40年近く経過している。また、公益法人への移行から10年が経ち、今後も基本理念のもとに中長期的な視点に立った管理・運営を行う。

● 看護政策力の強化

日本看護協会との連携を強化し、本会における政策推進をはかる。

社会が大きく変化する中で、看護職に役割期待も大きくなっています。今年度は、第8次保健医療計画や第9期老人福祉計画・介護保険支援計画の策定の年となります。看護専門職として役割を発揮するための体制づくりや課題解決に向けて、会員の皆さと共に、より一層の連携強化をしながら取り組んでいきたいと思っております。

今年の通常総会は、4年ぶりに新型コロナウイルス感染症蔓延前の参加規模で開催することになりました。会員一人ひとりの声を大切にして事業を進めていきたいと考えていますので、通常総会に参加されない方も、本誌の後よりにあるFAX用紙やHPのパナー「看護協会事業に関するご意見・ご要望」より忌憚のないご意見をお寄せください。

第一号議案

名誉会員の推薦(案)

春日 順子氏 (75歳)

【推薦理由】

平成14年から6年間、島根県立中央病院の看護局長として県民のニーズに合わせた高度で良質な医療の提供を目的とした病院看護管理運営に取り組んだ。島根県立中央病院在職中の平成11年7月から平成13年6月までの2年間、島根県看護協会の会計担当理事として事業の健全運営に尽力した。平成20年7月から平成23年6月までの3年間は本会の常務理事として、平成23年7月から平成29年6月までの6年間は島根県看護協会会長に就任し、本会の運営や事業推進・拡大に貢献した。平成24年度に本会が公益社団法人へ移行する際には、事業内容や財務内容、組織の見直し、定款の整備など理事会での協議を重ねながら精力的に取り組んだ。また、島根県看護協会会長となった平成23年から6年間は日本看護協会の地区理事としての役割も同時に担い、日本看護協会との連携をとりながら、社会のニーズ・看護職のニーズにあった課題解決に向けて積極的に取り組んだ。具体的な事業としては、看護職のワーク・ライフ・バランス支援事業、助産師出向支援導入事業、看護職人材確保対策事業、地域包括ケアにおける看護体制の構築等がある。関係者との連携を図り島根県の特徴を考慮した事業展開により成果をあげた。平成29年7月からは本会の参与としてナースセンター長に就任し、地域における人材確保・定着等に尽力した。さらに、令和2年7月1日から令和4年6月18日まで島根県看護協会監事として役割を担ってきた。

以上のように、長年にわたり看護協会の役職員として看護協会の基盤整備、組織および機能の強化、看護職の確保定着・資質向上等に尽力し、島根県看護協会の発展に寄与した功績は大きく名誉会員として推薦する。

第二号議案

令和5年度 公益社団法人島根県看護協会改選役員・推薦委員の選出(案)

(1) 役員

島根県看護協会定款第28条1項に基づく役員任期満了に伴い、島根県看護協会定款施行細則第13条1項の規程に基づき次の役員を選任を求める。

役員候補者紹介

(勤務先・協会活動歴は令和5年3月31日現在、抱負は原文のままを掲載)

会長候補(定数：1 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 池田 康枝	
職 種	看護師
勤務先	公益社団法人島根県看護協会
協会活動歴	島根県看護協会 2005年度～2006年度 広報委員会 2009年度～2010年度 社会経済福祉委員会 2011年度～2012年度 出雲支部理事(2年間) 2020年度～2021年度 島根県ナースセンター長(2年間) 2022年度～ 専務理事(1年間)
抱 負	コロナ禍において、看護職が人々の健康にとって重要な役割を担っていることが社会に再認識されました。また、ロシアによるウクライナ軍侵攻の終息が見込めない中、すべての人々が健康で安全に暮らすことの大切さを痛感しています。看護職の役割や大変さが注目される中、看護協会の役割は重要であり、今後も会員の皆さまと共に安心していきいきと働き続けられるよう取り組んでまいります。よろしくをお願いします。

副会長候補(定数：2 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 渋川 あゆみ	
職 種	助産師
勤務先	マザリー産科婦人科医院
協会活動歴	島根県看護協会 2007年度～2012年度 助産師職能委員会委員長(6年間) 2019年度～2022年度 副会長(4年間) 日本看護協会 2011年度～2015年度 助産師職能委員(5年間)
抱 負	少子高齢社会が続く中、社会からの期待に応えるためには、人材確保と質向上は勿論、活き活きと働き続けられる環境・体制づくりが必要です。そのためには、協会の活動や意義を若い看護職にも広め、より多くの会員が積極的に参加する組織と変わっていく必要があります。会長を補佐し、島根の看護職のために尽力したいと思います。

専務理事候補(定数：1 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 原 徳子	
職 種	看護師
勤務先	公益社団法人島根県看護協会
協会活動歴	島根県看護協会 2009年度～2012年度 認定看護管理者教育運営委員会委員(4年間) 2019年度～2022年度 常任理事(4年間)
抱 負	少子高齢化の加速や新型コロナウイルスの経験など社会が変容する中、人々から看護に求められるものは益々多様化してきています。社会で生活する人々の健康な生活の実現に貢献するため、島根県看護協会の理念に基づき看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護領域の開発をめざし取り組んでいきたいと思ひます。

常任理事候補(定数：1 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 田中 真美	
職 種	看護師
勤務先	個人
協会活動歴	島根県看護協会 2015年度～2018年度 認定看護管理者教育運営委員会委員(4年間) 2019年度 推薦委員会委員(1年間) 2021年度～2022年度 島根県ナースセンター看護相談員(2年間)
抱 負	新型コロナウイルス感染症対応で奮闘している最中、看護協会の皆様からのご支援、励ましが本当に支えになりました。その際に頂いたご支援をもとに微力ながら、看護現場の皆様と情報共有につとめ、看護職がやりがいを感じて働き続けられるように労働環境、人材育成等の課題に取り組んでいきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

保健師職能理事候補(定数：1 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 藤谷 明子	
職 種	保健師
勤務先	島根県保健環境科学研究所
協会活動歴	島根県看護協会 1984年度～1989年度 制度委員会委員(6年間) 2009年度～2010年度 創立30周年記念事業委員会委員長(2年間) 2021年度～2022年度 保健師職能委員長(2年間)
抱 負	人口構造の変化に伴う社会保障制度改革や感染症法、地域保健対策指針等の改正など大きく変革するこの時代、多機関で働く保健師への期待も増大しています。現場の声を聴きながら、全ての保健師がやりがいをもって活躍できるように保健師の質向上、看護職間の連携強化等について皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

支部理事(定数：7 各支部に各1 改選：5 候補者：5)

松江支部理事候補

推薦委員会推薦 福 島 菜穂子	
職 種	看護師
勤務先	安来第一病院
協 会 活動歴	島根県看護協会 2022年度 松江支部役員(1年間)
抱 負	初めての協会役員で、不安はありますが、会員の皆様のお力をお借りしてウィズコロナを意識しながら支部活動が充実したものになるよう、事業を進めてまいります。また、会員の皆様との情報共有、意見交換を図り、いのちと生活を守る看護職の支援について共に学びを深めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

出雲支部理事候補

推薦委員会推薦 池 田 公 子	
職 種	看護師
勤務先	島根大学医学部附属病院
協 会 活動歴	島根県看護協会 2017年度～2019年度 出雲支部班長(3年間) 2021年度 選挙管理委員会委員長(1年間)
抱 負	この度、支部長の推薦を受けました。このような大役が務まるのか不安はありますが、皆様にご協力いただき頑張りたいと思います。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、できることを模索し継続されてきた前役員の方々の活動を会員の皆様と共につなぎ、より良いものになればと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

大田支部理事候補

推薦委員会推薦 郷 原 真裕子	
職 種	看護師
勤務先	大田市立病院
協 会 活動歴	島根県看護協会 2005年度～2006年度 大田支部役員 2009年度～2010年度 教育委員会委員
抱 負	COVID-19感染症の位置づけが5類感染症に移行するとはい様々な現場では変化に伴う対応が今後も必要となっております。保健・医療・福祉の現場で働く会員の皆様の声を聞き、そしてその思いを共有すること、また連携をしていくことが現場で働く看護職の支えになればと考えています。微力ではありますが皆様のお力を借りて務めていきたいと思っております。

益田支部理事候補

推薦委員会推薦 大 場 裕 子	
職 種	保健師
勤務先	益田保健所
協 会 活動歴	
抱 負	初めて協会役員の推薦を受けました。改めて看護協会の理念や歴史を学びながら、看護職能として地域のために貢献できるよう努力したいです。また、益田支部の皆さんと元気の出る活動が進められるよう相談しながら歩みます。よろしく申し上げます。

隠岐支部理事候補

推薦委員会推薦 高 村 浩 美	
職 種	助産師
勤務先	隠岐病院
協 会 活動歴	
抱 負	少子高齢化が加速する中、医療・介護・地域・教育において看護の果たす役割は大きいと感じています。協会ニュース1月号に、社会の期待に応えることが看護職の使命とありました。その意味を考えながら、支部活動を実践していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

監事候補(定数：2 改選：1 候補者：1)

推薦委員会推薦 小 森 恵 子	
職 種	看護師
勤務先	個人
協 会 活動歴	島根県看護協会 1993年度～1996年度 看護婦職能委員会委員(4年間) 1997年度～1998年度 看護教育委員会委員(2年間) 2003年度～2008年度 ファーストレベル委員会委員(4年間) 2006年度～2008年度 認定看護教育運営委員会委員(3年間) 2009年度～2010年度 医療安全推進委員会委員(2年間) 2012年度～2013年度 ワークライフバランス推進支援者(2年間) 2012年度～2018年度 副会長(6年間) 2019年度～2022年度 監事(4年間)
抱 負	少子超高齢化を迎え、多くの課題がある中、島根県看護協会の歩みとその使命を果たせるように監事として定款に沿った職務を行いたいと思っております。

(2) 推薦委員

島根県看護協会定款施行細則第10条3項に基づく推薦委員の任期満了に伴い、島根県看護協会定款施行細則第10条1項に基づき次の推薦委員の選任を求める。

役員名	氏名	職 種	所属施設等
推薦委員	深 崎 美 樹	保 健 師	県央保健所
推薦委員	奥 田 久美子	保 健 師	雲南市役所
推薦委員	原 ゆかり	助 産 師	大田市立病院
推薦委員	吉 岡 佐知子	看 護 師	松江市立病院
推薦委員	大 崎 恵 子	看 護 師	済生会江津総合病院
推薦委員	多久和 かおり	看 護 師	島根県立こころの医療センター
推薦委員	菅 田 ゆかり	看 護 師	町立奥出雲病院

選 挙

2024（令和6）年度 公益社団法人日本看護協会通常総会の代議員・予備代議員の選出について(案)

公益社団法人日本看護協会は、平成23年4月から公益社団法人に移行しました。

日本看護協会の代議員・予備代議員の選出は、島根県に委託されておりその方法は選挙によります。

2011（平成23）年度から日本看護協会の通常総会の代議員数は750人で、島根県看護協会の代議員は通常総会の前々年度である2021（令和3）年12月末日の会費納入者を基礎に算出されます。

島根県看護協会は5,916人で代議員数は6名です。選出基準は保健師1名、助産師1名、看護師2名、准看護師1名とし、5名を超えるものは職種を問わないとなっています。2010（平成22）年2月理事会において職種を問わない1名を看護師とする旨が承認されましたので下記のとおり選出しています。

(1) 2024（令和6）年度日本看護協会代議員候補者

職 種	氏 名	所 属 施 設 名
保 健 師	藤 谷 明 子	島根県保健環境科学研究所
助 産 師	落 合 永 美	島根県立中央病院
看 護 師	大 岡 恵 利 子	松江市立病院
看 護 師	大 越 美 香	医療法人社団創健会 松江記念病院
看 護 師	福 島 菜 穂 子	安来第一病院
准 看 護 師	石 原 由 美	医療法人陶朋会 平成記念病院

予備代議員についても選出基準に基づき代議員と同数選出します。

(2) 2024（令和6）年度日本看護協会予備代議員候補者

職 種	氏 名	所 属 施 設 名
保 健 師	大 場 裕 子	益田保健所
助 産 師	高 村 浩 美	隠岐広域連合立隠岐病院
看 護 師	池 田 公 子	島根大学医学部附属病院
看 護 師	高 橋 京 子	花みずきナースステーション
看 護 師	郷 原 真 裕 子	大田市立病院
准 看 護 師	佐 々 木 由 紀 子	済生会江津総合病院

令和5年度

重点政策・重点事業、重点課題、基盤強化事業の概要

重点政策・重点事業は概ね3年間の取組みの、今年度は2年目となる。Ⅲ－2は「新たな認定看護師制度の普及促進」からより幅広く取組むために「時代の要請に応じた人材確保と育成」に変更した。また、Ⅳ－1及びⅣ－2は、国の方針等を踏まえて統合しⅣ－1「感染症拡大及び災害発生時における看護支援体制の整備」とした。短期間での実現が困難である内容は重点課題として整理し、看護協会の運営基盤となる内容は基盤強化事業として取り組む。

重点政策・重点事業

I 健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築

I－1) 地域における健康・療養支援の強化

すべての人々が安心して生活をしていくためには、多機関で働く保健師間での連携強化や、地域における看護職間の連携が重要である。昨年度は保健師職能集会や研修会を通し、参加者の幅も広がりネットワークが広がりつつある。また、3職能合同研修では、各職能が感染症対応に工夫や努力を行いながら継続して取り組んだことが共有できた。地域における健康・療養支援の強化に繋げるためには、継続した取組みが必要である。また、看護師職能Ⅱ交流会では、「平時からの事業継続計画と地域連携体制」をテーマに講演会を行った。地域を支える多職種連携強化の必要性を共通認識でき、各施設における事業継続計画（BCP）作成の一助になったと思われる。新型コロナウイルス感染状況等により、計画どおり実施できなかった事業もあったが、前年度評価を踏まえて引き続き事業に取り組む。

〈実施内容〉

- 健康な人々・受療中の人々に対する支援のあり方を検討
- 行政並びに保健・医療・福祉分野で働く看護職の連携強化
- 地域を支える多職種との連携強化

〈事業計画〉

- ・保健師職能交流集会：働き盛り世代の健康づくりの推進
- ・助産師職能研修会：女性の健康支援
- ・看護師職能Ⅱ交流会：介護・福祉関係施設、在宅等領域で働く看護職との連携
- ・介護・福祉施設で働く看護職員実態調査
- ・3職能合同研修会：医療的ケア児の支援
- ・「摂食・嚥下障害のある患者の看護」研修会
- ・看取り研修会

I－2) 母子支援のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進

妊娠・出産・育児を取り巻く社会情勢の変化に対応した、安全で安心な妊娠・出産環境や健全な育児環境づくりは重要である。昨年度は「育児不安やメンタルヘルスへの支援」をテーマに、保健師・助産師合同研修会を行い、課題と連携の重要性を共有した。令和5年度は、こども家庭庁の新設等の国の動きも踏まえた母子支援に係る情報収集を行い、活動内容の検討に繋げる必要がある。

県内では分娩取扱い施設の減少により集約化が進んでいる。また、県内すべての分娩取扱い施設において混合病棟という状況にあり、出産環境の整備も急がれる。助産師出向支援事業は9年目となり、人材確保・育成に一定の成果を上げてきたが、周産期医療提供体制全体を鑑み、更なる活用も進めていく。

〈実施内容〉

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない助産、看護体制の構築
- 県内における母子支援のための看護機能の強化

〈事業計画〉

- ・ 保健師職能研修会：乳幼児の発達と早期発見の視点、保護者支援
- ・ 助産師職能交流会：院内助産・助産師外来・産後ケアの推進
- ・ 保健師・助産師合同研修会：地域特性に応じた安心・安全な地域包括ケアシステム
- ・ 助産師出向支援事業

I-3) 訪問看護師の育成・確保・定着の推進

令和3年度の日本看護協会「訪問看護支援センター試行事業」、令和4年度には県委託事業「島根県訪問看護師確保・定着に向けた総合支援事業」を経て、令和5年度から「島根県訪問看護支援センター」を受託することとなった。今年度は、事業推進体制を整えながら、訪問看護師の育成・確保・定着に関する支援や、ナースセンター・訪問看護ステーション協会・行政等の訪問看護に関する諸団体が一体となった総合的な支援体制づくりを進める。

〈実施内容〉

- 訪問看護の人材確保・定着支援
- 訪問看護の質の向上
- 経営・運営支援
- 訪問看護普及啓発

〈実施計画〉

- ・ 新卒等訪問看護師育成事業・訪問看護人材育成支援事業・訪問看護師養成講習会
- ・ 訪問看護ステーション出向研修事業
- ・ 訪問看護相互研修事業・訪問看護相談窓口・訪問看護に係る普及啓発事業

II 看護職の働き方改革の推進

II-1) 勤務環境の改善に向けた取り組み

超少子高齢社会の進展に伴い、今後は看護職として就業する若年層の大幅な増加を見込むことができない。こうした状況の中で、安心・安全な看護提供体制を維持していくためには、看護職ができるだけ長く、健康で働き続けられる、持続可能な働き方の実現が求められている。

令和4年日本看護協会の病院看護実態調査では、新人看護師の離職率は10.3%に増加した。ウイズコロナにおける新人看護師の育成と就業継続に向けた取り組みを行う。

また、令和4年度看護職の勤務環境改善支援事業において、看護管理者に向け「心理的安全性」をテーマに研修会を実施し50名の参加があった。研修後アンケートからも関心が高く満足度の高い結果であった。各職場において勤務環境の改善に繋がるよう令和5年度も継続した取り組みを行う。

〈実施内容〉

- ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の実現に向けた取り組み
- 「就業可能な看護職の働き方の提案」を踏まえた勤務環境への取り組み
- 看護職の処遇改善に向けた取り組み

〈実施計画〉

- ・ 看護師職能I交流集会：ウイズコロナにおける新人看護師の育成と就業継続
- ・ ナースセンター勤務環境改善支援事業：心理的安全性 シンポジウム
- ・ 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知・導入支援

II-2) ナースセンター機能の強化

日本看護協会は看護職員確保に向けた施策の柱として、「新規養成」「復職支援」や、勤務環境の改善・離職防止の推進による「定着促進」を掲げている。

また、日本看護協会では、人口減少が進み、看護職員の人材確保は厳しい状況にある中「地域・領域別偏在の調整」に向けて具体的な対策の検討を事業として掲げている。本協会においても偏在地域の実態調査や、課題解決に向けた島根県や関係機関との情報共有を図り、就業支援や人材育成の強化を図る。

3年間に及ぶコロナ禍において、eナースセンターに登録した潜在看護師がワクチン接種や宿泊療養施設の就業に繋がった。現在、新型コロナウイルス感染症関連の就業看護師が次の就業に繋がりがつつあり、引き続き就業に向けての支援を行う。

〈実施内容〉

- 若年層を対象とした看護人材確保
- 看護職員の復職支援の強化
- 勤務環境を通じた定着・離職防止
- 日本看護協会・島根県・市町村・ハローワーク等関係機関との連携強化

〈実施計画〉

- ・ 就業等に関する相談支援の充実（ナースバンク事業の充実）
- ・ 再就業チャレンジ講習会の開催（看護職員の確保・定着）
- ・ プラチナナース研修・交流会の開催
- ・ 「看護の日・看護週間」事業 PRバス走行・看護の出前授業
- ・ 高校生の進学ガイダンス、一日看護学生・看護体験、看護エピソード募集
- ・ 地域に必要な看護職確保推進事業

II-3) 業務改善とタスクシフトへの取組み

医療専門職がそれぞれの専門性を軸に、質を担保しながら、さらに役割を発揮し、今まで以上に医療の提供に貢献していかなければならない。中でも「医療」と「生活」の両面から患者を捉え、療養生活を支える、患者の最も身近にいる看護職へ看護職の専門性の発揮に資するタスクシフト・タスクシェアの期待は大きい。必要な医療がタイムリーに提供されるよう、患者の一番近くにいる看護師が判断可能な範囲を拡大し、さらに専門性を発揮できるようにする必要がある。また、タスクシフト・タスクシェアにおいて看護職の業務負担がさらに増加することのないよう、看護補助者との協働を一層推進していく必要がある。令和4年度は、日本看護協会提供のコンテンツを利用した「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」を実施した。本研修は、診療報酬に関わる研修であるため参加希望者が多く2回開催した。看護師職能I委員会では、看護補助者との協働推進のための報告会を予定していたが、新型コロナウイルスのため中止となったため、令和5年度に実施予定とした。

〈実施内容〉

- 看護師職能I研修会 働き方改革、タスクシフト等に関する事業
- 看護補助者の就業推進

〈実施計画〉

- ・ 看護師職能I研修会：看護補助者のタスクシフト等に関する報告会
- ・ ハローワークとの連携強化 看護補助者しごと紹介パンフレット

Ⅲ 看護職の役割拡大の推進と人材育成

Ⅲ－１）特定行為研修制度の普及促進

特定行為研修制度は、「今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくこと」を目的に、平成27年（2015）に保助看法を改正して創立された。島根県内の特定行為指定教育機関は現在5機関となり、令和4年において特定行為研修修了者（以下修了者）は57名と増加してきている。しかし、修了者は病院が中心で、地域における修了者はまだ少ない現状である。令和4年度には特定行為研修に係る情報交換会とシンポジウムを実施した。シンポジウムでは、日本看護協会の講師から「国の動向を踏まえた日本看護協会の特定行為研修への取組み」についての講演や島根県の説明、3名の修了者から特定行為研修修了後の実際を聞き、今後の事業推進の参考となった。引き続き、修了者の活動の状況や成果・課題等について、情報交換と課題整理が必要である。また、修了者が現場でより良い活動ができるよう島根県と連携して本制度の普及促進を図っていく。

令和5年度は、修了者間での活動状況や情報共有のためのネットワークづくりを進め、修了者の活躍の推進を図る。また、修了者と指定教育機関とのフォローアップ事業を行い、地域における活躍の推進に繋げる。

〈実施内容〉

- 特定行為研修制度の理解と活用推進
- 県内における特定行為研修修了者の現状把握

〈実施計画〉

- ・ 看護師の特定行為研修シンポジウム
- ・ 研修修了者の情報交換会
- ・ 特定行為修了者のネットワークづくり
- ・ 訪問看護ステーションと指定教育機関との連携事業

Ⅲ－２）時代の要請に応じた人材確保と育成

少子高齢化社会における社会変化に伴う社会ニーズは多様化しており、複雑多岐にわたる保健医療福祉に対応する人材育成が重要となっている。「看護の将来ビジョン」に示されているように、高齢者だけでなく、子どもを産み育てる人々、子どもたち、障がいのある人々等、すべての人々が対象である。急性期から在宅療養へ繋ぐ回復期から慢性期、在宅療養を支える外来等において看護職の役割が重要である。疾病を抱えながら治療と仕事の両立、生活習慣病の予防、女性の健康支援など看護職に求められる役割が多様化している。このような状況を鑑み、求められる看護への期待に対応できる人材の確保と育成について検討を進めていく。

また、認定看護師教育課程の県内開講については、島根県への要望や県議会への要望等を繰り返し行ってきたが、令和5年度に島根県立大学出雲キャンパスに感染管理認定看護師教育課程（B課程）が開講となった。今後も県内の看護の質向上のためにも、現場のニーズに合わせた教育課程開講に向けて関係者へ働きかけを継続する。

〈実施内容〉

- 県内における認定看護師教育の継続に向けた取組み
- スキルアップ体制の強化
- 特定行為研修修了者の活動状況の把握

〈実施計画〉

- ・ 施設（圏域）における認定看護師、特定行為研修等人材育成へのニーズ調査
- ・ 関係団体との情報交換と連携強化
- ・ 各職能委員会での検討と事業展開

Ⅲ－３）准看護師の課題解決に向けた取組み

令和元年度（2019）に准看護師に関する現状把握を行うため、会員施設を対象に実態調査を行い、課題整理を行った。その結果を踏まえて看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会において「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドラインおよびガイド」の活用促進を行ってきた。令和4年度は看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会合同研修会を実施し、事例を通し准看護師の進学支援の実際を共有した。令和5年度も引き続き看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会合同で進学支援および業務上の課題解決に向けた検討を行う。

〈実施内容〉

- 准看護師業務のあり方の普及・推進
- 准看護師の進学支援事業

〈実施計画〉

- ・ 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同の准看護師支援事業（情報共有し解決に向けた検討）
- ・ 進学に向けた制度・奨学金・進学課程の紹介等
- ・ 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドラインおよびガイド」の活用促進

Ⅳ 地域における健康危機管理体制の強化

Ⅳ－１）感染症拡大及び災害発生時における看護支援体制の整備

国は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、「5類」に変更することを決定した。本会では、県から宿泊療養施設の勤務調整および宿泊療養施設対応看護職の研修・相談事業を受託し実施してきたが、令和4年度をもって終了となった。新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの経緯を踏まえ、国では平時から都道府県と医療機関との間で新興感染症への対応に関する協定を結ぶ仕組みの法定化や広域での看護職員等医療人材の派遣調整等の仕組みが創設された。本会においては、これまで日本看護協会の「災害支援ナースの派遣制度」に則り、災害支援ナースの育成・登録強化に努めてきたが、国の動きを受けて災害支援ナース派遣制度はなくなり、養成も中止となった。

今年度は、改正感染症法・改正医療法に基づく「災害・感染症医療従事者」による広域的な派遣体制整備を進める一環として、本会に「災害・新興感染症看護委員会」を新設して人材育成強化する。また、島根県と連携し感染症拡大及び大規模災害発生時における看護支援活動の体制整備を進めていく。

〈実施内容〉

- 日本看護協会、島根県等関係機関との連携、協働
- 改正感染症法・改正医療法に基づく災害・感染症医療従事者による広域的な派遣体制整備

〈実施計画〉

- ・ 新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業
（災害・感染症医療業務従事者登録のための研修プログラム）実施
- ・ 災害・新興感染症対応支援ナースの育成・登録の推進
- ・ 災害・新興感染症対応支援ナースに係る周知活動
- ・ 島根県総合防災訓練への参加

重点課題

看護師の基礎教育の4年制化の推進

日本看護協会では平成18年度（2006）通常総会において「看護師基礎教育の年限延長」を決議し、「看護の将来ビジョン」に「4年制大学化の推進」を掲げた。その後、地域包括ケアシステムの構築に向け、看護師の活動の場が多様化し、求められる役割や能力が高度化することを踏まえ、平成29年度（2017）から重点政策に「看護基礎教育制度改革の推進」を挙げ「看護師の基礎教育の4年制化」に取り組んでいる。令和2年（2020）10月に保健師助産師看護師学校養成所指定規則及び「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」が一部改正され、令和4年度（2022）から改正カリキュラムが適用されている。看護師基礎教育は「地域・在宅看護論」などの単位数が引き上げられ、総単位数は97単位から102単位となったが十分とはいえ、引き続き看護師基礎教育の4年制化の実現に取り組む方針である。

本会においても日本看護協会の方針に沿って長年活動を行っている。令和4年度は看護連盟と共に「看護師基礎教育を考える会の設置」を県議会へ要望した。今年度も継続した取り組みを行う。

〈事業計画〉

- ・ 看護師基礎教育を考える会の設置に向けた県への要望
- ・ 大学における看護師教育4年制、大学院における保健師及び助産師教育の要望
- ・ 県内看護師養成機関等との情報交換会等

基盤強化事業

1. 組織強化に向けた入会促進
2. 適切な会館管理・運営
3. 看護政策力の強化

1. 組織強化に向けた入会促進

会館管理運営委員会、各委員会活動や支部活動を通じて、入会促進を図ったが、令和4年度の会員数は5,918人と前年度比15人減であった。令和5年度も会館管理運営委員会を中心に、データ分析に基づくターゲットを絞った入会促進活動や看護職のニーズを踏まえた会員増加に向けた取り組みを行う。

2. 適切な会館管理・運営

本会の看護研修センターは、本館は昭和58年（1983）に竣工し39年が経過している。別館は平成23年（2011）に隣接土地・建物を購入し、研修施設として改修工事を行っているが、建設から44年が経過している。令和3年度に行った島根県看護研修センター建物調査の結果を踏まえ、令和4年度は本館の外壁改修工事を行った。

令和5年度は、中長期的な視点に立った、会館の維持管理や建替え、会館機能のあり方等、について会館の今後に向けた方針等の検討を進める。

3. 看護政策力の強化

平成24年（2012）4月公益社団法人に移行し11年が経過した。基本理念に基づき、本会の使命である「人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。」を果たすためには、社会の動向や看護現場の状況等を踏まえた根拠ある方針や対策を立て、それを実現するための財源獲得に繋げられるよう情報収集や関係機関との連携強化を行う。

〈実施内容〉

- ・入会促進事業の推進
- ・県行政等関係機関との連携強化
- ・島根県看護連盟との連携強化
- ・日本看護協会の組織強化事業

〈事業計画〉

- ・データに基づく会員確保
- ・県行政等との情報交換の場をもつ
- ・日本看護協会政策担当者会議内容の活用
- ・島根県看護連盟との定期的な意見交換や情報共有を行う
- ・県行政や関係機関及び県議会への要望書の提出

令和5年度事業計画

島根県看護協会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を日本看護協会と連携し、以下の通り行います。

事業計画は定款第4条の7つの事業に沿って掲載しています。

1. 看護並びに学術研究等の振興による看護の質の向上に関する事業
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業
3. 看護業務及び看護制度の改善に関する事業
4. 在宅ケア・訪問看護の実施及び促進等に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

記載上の留意事項

- ①事業内容の太字は重点事業、下線は新規事業
- ②予算額は、直接事業費のみを計上
- ③講師等の敬称は省略

1. 看護並びに学術研究等の振興による看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
1-1) 継続教育に関する事業	1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	
	1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修	
	(1) 新人看護職員等サポート研修	2,949
	①多施設合同研修 開催日: 令和5年5月26日(金)～12月6日(水) (分散型6日間)	
	②新人助産師集合研修 開催日: 令和5年10月28日(土)、10月29日(日) 島根県立中央病院	
	③新人看護職員研修 開催日: 令和5年7月20日(木) or 21日(金) パルメイト出雲	
	④新人看護職員卒後フォローアップ研修 開催日: 令和5年9月28日(木) (オンライン研修)	
	(2) ジェネラリストを育成する教育	
	①教育事業委員会が企画実施する集合研修	3,232
	②看護職員認知症対応力向上研修 開催日: 令和5年7月28日(金)、7月29日(土)、7月30日(日) 看護研修センター	1,482
(3) 教育者・研究者を育成する教育		
①臨床看護研究計画立案研修 開催日: 令和5年8月17日(木)、8月18日(金) 会 場: 島根県立大学出雲キャンパス		
②看護研究指導者のための臨床看護研究研修 開催日: 10月頃 会 場: 未定		
③実地指導者研修 開催日: 令和5年8月1日(火)～10月3日(火) (分散型5日間)	1,511	
④教育担当者研修 開催日: 令和5年8月29日(火)～11月30日(木) (分散型6日間)	1,078	

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
	<p>2) 診療報酬に対応した研修</p> <p>①糖尿病重症化予防フットケア研修 (3日間) 開催日: 令和5年12月8日(金)、12月9日(土)、12月10日(日) 看護研修センター</p> <p>②看護職員認知症対応力向上研修 (3日間) [再掲] 開催日: 令和5年7月28日(金)、7月29日(土)、7月30日(日) 看護研修センター</p> <p>③精神科訪問看護研修【重I-3】 開催日: 令和5年5月21日(日)、5月27日(土)、5月28日(日) (3日間) オンライン開催</p>	2,950
	<p>2. ラダーと連動した継続教育 教育事業委員会が企画する集合研修 (再掲)</p> <p>3. 看護管理者の力量形成に向けた継続教育</p> <p>4. 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 施設内教育におけるJNAラダー活用のための研修の推進</p> <p>5. 資格認定教育</p> <p>1) 認定看護管理者教育課程</p> <p>①ファーストレベル教育課程 期 間: 令和5年7月13日(木)～9月30日(土) (分散型20日間) 問題解決実践報告会・修了式 令和6年2月16日(金)</p>	5,300
	<p>6. 助産師出向支援事業【重I-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師出向参加ニーズ調査 ・協議会の開催 年2～3回 ・調整会議および交流会 ・事業報告会: 令和6年3月開催予定 	2,102
	<p>7. 訪問看護師養成事業【重I-3】</p> <p>「訪問看護eラーニング」活用による訪問看護師養成講習会 (訪問看護人材養成基礎カリキュラム) 開催日: 令和5年5月11日(木)～12月20日(水) (分散型10日間) 会 場: 看護研修センター・訪問看護ステーション</p>	597
	<p>8. 訪問看護研修・訪問看護師資質向上研修</p> <p>訪問看護研修の開催【重I-3】</p> <p>①人工呼吸器管理と看護研修 開催日: 令和5年8月27日(日) 済生会江津総合病院</p> <p>②シミュレーターを用いたフィジカルアセスメント研修 (3回開催) 開催日: 令和5年9月16日(土)、9月23日(土)、12月2日(土) 出雲市民会館</p> <p>③訪問看護管理者研修 (3日間) 開催日: 未定 会 場: 看護研修センター他</p> <p>④看護協会、訪問看護ステーション協会、介護支援専門員協会合同研修会</p>	2,950
	<p>9. 災害フォローアップ研修【重IV-1】</p> <p>目 的: 災害対策基本法及び島根県地域防災計画に基づき、住民及び関係機関が参加する 島根県主催の訓練に参加する 開催日: 令和5年10月下旬 安来市</p>	140
	<p>10. 医療安全管理者交流会 開催日: 令和5年11月23日(木) 会 場: 未定</p>	80

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
1-2) 看護学会・学術 集会に関する事 業	1. 第16回島根看護学術集会開催 開催日:令和5年7月8日(土) 会 場:ビッグハート出雲 メインテーマ 「看護実践を紐解く ～振り返る力・見つめる力～」 特別講演 「ケアの意味を見つめる事例研究」 講 師 東京医科歯科大学 准教授 野口麻衣子 氏 2. 第16回島根看護学術集会 論文集作成	781
1-3) 図書室運営に関 する事業	1. 図書室の整備 ・図書管理システムによる管理 ・図書・雑誌等の新規購入 ・蔵書点検・管理	101

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
2-1) 働き続けられる 労働環境づくり に関する事業	1. 看護職の働き続けられる職場環境づくり推進事業 1) 看護職の勤務環境改善事業【重Ⅱ-1】 ・ヘルシーワークプレイス推進及び勤務環境改善に係る情報提供 ・看護職の勤務環境改善事業研修 開催日:令和5年11月～12月頃 ニューウェルシティ出雲 2) 看護師職能I研修会【重Ⅱ-3】 ・看護の専門性発揮のためのタスクシフト・シェアを学び看護補助者との共同推 進に取り組む 開催日:令和5年8月 or 10月頃 看護研修センター	743 64
2-2) 看護職員確保に 関する事業	1. ナースバンク事業 1) 第6次NCCSによる求人求職登録、無料職業紹介、離職者等の届出登録 ・eナースセンター求人・求職者の登録 ・看護師等の離職時等の届出登録 2) 看護職の就業相談員による就業相談 ・ナースセンター(平日 9:00～17:00) ・移動ナースバンク(就業相談会 月1回開催) ハローワーク会場:松江・雲南・石見大田・浜田・益田 その他の会場:島根県立中央病院、パルメイト出雲 ・その他各種相談(労働環境・進路相談・キャリアアップ相談など) 3) 圏域別看護関係者連絡会議の開催(島根県と共催) 松江(隠岐含)・雲南・出雲・大田・浜田・益田(7圏域) 2. 再就業支援等の研修の実施【重Ⅱ-2】 1) 再就業支援に関する広報 ・ナースセンターだよりの発行(年4回) ・ホームページでの情報提供 ・看護の動向、看護情報、求人情報の提供 ・対外的な広報活動の充実 ・島根県立図書館とのタイアップ事業(開催日:令和5年10月頃) 2) 再就業支援講習会事業 再就業チャレンジ講習会 開催日:令和5年5月31日(水)～令和6年1月19日(金) (1日または半日コースで7日間開催)	6,311 728

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
	<p>会 場：松江・出雲・江津</p> <p>3) プラチナナースのための研修・交流事業【重Ⅱ-2】</p> <p>開催日：令和6年1月頃 くにびきメッセ</p> <p>3. 離職看護職の就業促進</p> <p>1) 未就業、退職看護職員の実態と就業希望条件などの把握</p> <p>①「看護師等免許保持者の届出制度」の周知・広報及び登録提出の推進</p> <p>②看護職員離職者実態調査（令和4年度離職時登録者を対象に実施）</p> <p>2) 看護職員需要施設の把握</p> <p>・施設訪問等</p> <p>4. その他の事業</p> <p>1) 福祉・保育の就職フェアしまねへの参加</p> <p>2) しまねUIターンフェア事業への参加（大阪、東京、広島）</p> <p>3) 島根県立大学との連携事業</p> <p>・シミュレーション研修</p> <p>4) その他 看護職就職キャンペーン等への参加</p>	

3. 看護業務及び看護制度の改善に関する事業

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
3-1) 看護業務の改善 に関する事業	<p>1. 職能委員会活動</p> <p>1) 保健師職能交流集会【重Ⅰ-1】</p> <p>目 的：多分野で働く保健師の活動を共有し、相互理解を深めると共に連携強化し、地域に応じた協働活動の展開を目指す。働き盛り世代の健康づくりの推進を目指した連携体制の強化を図る。</p> <p>開催日：令和5年6月17日(土) 午前 パルメイト出雲</p> <p>2) 助産師職能交流集会【重Ⅰ-2】</p> <p>目 的：助産師職能の現状と課題を理解する・県内の院内助産、助産師外来、産後ケアの現状を知る</p> <p>開催日：令和5年6月17日(土) 午前 ビッグハート出雲</p> <p>3) 看護師職能Ⅰ（病院領域）委員会 職能交流集会【重Ⅱ-1】</p> <p>目 的：病院領域で働く看護師の現状や情報を共有し、看護職が働きやすい環境や支援の在り方について考える</p> <p>テーマ：ウィズコロナにおける新人看護師の育成と就業継続に向けた取組み</p> <p>開催日：令和5年6月17日(土) 午前 出雲医療看護専門学校</p> <p>4) 看護師職能Ⅱ（介護・福祉領域）委員会 看護師職能Ⅱ交流集会【重Ⅰ-1】</p> <p>目 的：介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職が地域の医療と介護の連携を図り、各現場の現状・課題の情報共有を行い、領域の意見を集約する</p> <p>開催日：令和5年6月17日(土) 午前 出雲医療看護専門学校</p> <p>2. 日本看護協会との連携による活動の推進</p> <p>3. ホームページ・広報誌（あかね雲）・研修会等を活用した情報提供</p> <p>①日本看護協会奨学金貸与の紹介</p> <p>②日本看護協会准看護師進学支援特設サイトの紹介</p>	<p>118</p> <p>39</p> <p>75</p> <p>70</p>

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
3-2) 看護業務及び制度に関する事業	1. 看護基礎教育制度改革の推進【重点課題】 1) 看護師基礎教育を考える会の開催に向けて、県行政へ要望 2) 県内看護養成機関との情報交換会	253
	2. 准看護師支援事業【重Ⅲ-3】 1) 「看護チームにおける看護師、准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及びガイド」の活用促進・意見交換等 開催日：未定 会 場：看護研修センター	293
	3. 3 職能合同研修会（保健師・助産師・看護師職能）【重Ⅰ-1】 目 的：健康な人々、受療中の人々が安心して生活・療養ができるように、保健師・助産師・看護師が連携を図り、現状・課題の情報共有を行い、看護の機能強化を図る テーマ：医療的ケア児の支援 ー乳幼児を対象とした支援ー 開催日：令和5年9月17日(日) 午後 会 場：朱鷺会館	181
	4. 看護関連政策への提言 1) 関係行政・関係機関等への提言・要望 2) 県議会看護問題議員連盟等への要望書提出 3) 看護職員確保施策等に関する意見交換会（島根県・看護協会・看護連盟）	

4. 在宅ケア・訪問看護の実施及び促進等に関する事業

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
4-1) 在宅ケア・訪問看護の促進事業	1. 島根県看護協会立訪問看護ステーション 訪問看護ステーションやすらぎ 訪問看護ステーションいずも 訪問看護ステーションおおだ 訪問看護ステーションそよかぜの丘 1) 訪問看護事業 2) 看護学生等の訪問看護実習の受け入れ 3) 他団体への協力・講師派遣 4) 人材育成（訪問看護養成講習会の受講）	276,730
	2. 島根県訪問看護支援センター事業【重Ⅰ-3】	14,744
	3. 訪問看護ステーション出向研修事業【重Ⅰ-1】	3,483
	4. 精神科訪問看護研修の開催（分散型3日間）〔再掲〕【重Ⅰ-3】	
	5. 摂食・嚥下障害のある患者の看護研修会【重Ⅰ-1】 目 的：看護職に求められる食の基本を理解し、包括的食支援の実践に向けてスキルアップできる 開催日：令和5年11月18日(土) 未定	149
	6. 介護・福祉施設で働く看護職員実態調査【重Ⅰ-1】 目 的：介護・福祉施設で働く看護職員の属性と就業の実態、多職種との協働の状況を明らかにする 実施日：9月～12月	50

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
5-2) 医療安全推進に 関する事業	1. 看護職の医療安全・医療事故対応に関する事業 1) 日本看護協会との連携 ・「看護職賠償責任保険制度」加入の促進 ・医療事故調査等支援団体としての協力 2) 「医療・看護安全相談窓口」による相談、支援 3) 医療安全管理者養成研修（日本看護協会との連携研修） ・日本看護協会主催によるインターネット配信研修【オンデマンド】（35時間） ・集合研修（5時間） 対象者：インターネット配信研修（35時間）をすべて受講し、受講証明書を発行された方 開催日：令和5年11月22日(水) 会 場：看護研修センター	143
5-3) 人々の健康な生 活の実現に必要な 情報提供事業	1. 地域における健康・療養支援の強化 ・島根県訪問看護支援センター事業 2. 地域包括ケアの実現を支える看護機能連携システム ・都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議	
5-4) 看護に関する啓 発事業	1. 「看護のこころ」普及事業 1) 「看護の日・看護週間」事業 ①PRバス企画（島根県運行） 開催日：令和5年5月9日(火) ・出発式（島根県庁前） 主催者挨拶、来賓祝辞、育英幼稚園児の歌の披露等、記念撮影 ・看護の出前授業・進学ガイダンス （松江市立湖東中学校、出雲市立大津小学校、県立大社高等学校） ②高校生の「心に残る看護エピソード」募集 ・入賞者に賞状と副賞を贈呈 2) 中・高校生などを対象とした看護業務についてのPR事業 ※支部と連携して実施 ・進学ガイダンス、看護出前授業 通年 ・中学生・高校生の一日看護学生・看護体験 2. 保健師職能委員会活動 1) 日本看護協会保健師職能委員会との連携による課題の検討と活動の推進 2) 各保健師団体組織との連携強化 3. 助産師職能委員会活動 1) 日本看護協会助産師職能委員会との連携による課題の検討と活動の推進 4. 看護師職能Ⅰ（病院領域）委員会活動 1) 日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進 5. 看護師職能Ⅱ（介護・福祉領域）委員会活動 1) 日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進	405
5-5) 看護研修センター 運営事業	1. 入会促進事業【基盤強化事業】 1) 会員・施設の統計情報の活用 2) 看護協会未加入の施設への入会案内 3) 研修等を活用した非会員への働きかけ	500

事業細目	内 容	事業費 (単位:千円)
7-3) 法人管理に関する事業	<p>1. 諸会議等の円滑な運営</p> <p>1) 公益社団法人島根県看護協会通常総会 令和5年6月17日(土) ビッグハート出雲</p> <p>2) 理事会 年6回以上</p> <p>3) 常務理事会</p> <p>4) 職能委員会</p> <p>①保健師職能委員会 年5回以上</p> <p>②助産師職能委員会 年5回以上</p> <p>③看護師職能Ⅰ委員会(病院領域) 年5回以上</p> <p>④看護師職能Ⅱ委員会(介護・福祉領域) 年5回以上</p> <p>5) 常任委員会</p> <p>①会館管理運営委員会 年5回以上</p> <p>②教育事業委員会 年5回以上</p> <p>③広報委員会 年5回以上</p> <p>④学会委員会 年5回以上</p> <p>⑤災害・新興感染症看護委員会 年5回以上</p> <p>⑥医療安全推進委員会 年5回以上</p> <p>6) 認定看護管理者教育運営委員会 年5回以上</p> <p>7) 推薦委員会</p> <p>8) 選挙管理委員会</p> <p>9) 監査会(全期・上期2回)</p> <p>2. 事務局管理体制の強化</p> <p>1) 職員の人事管理・労務管理(就業規則等の変更・働き方改革等の対応)</p> <p>2) 職員の人材育成等</p> <p>3) 業務の効率化(内部業務の整理とマニュアル整備)</p> <p>3. 会員情報管理システム(ナースシップ)の運用と活用の推進</p> <p>1) 未入会者への効果的な入会案内</p> <p>2) 会員及び施設への周知・説明</p> <p>4. 表彰・各受賞候補者の推薦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会名誉会員 ・日本看護協会会長表彰 ・島根県看護協会名誉会員 ・島根県看護協会会長表彰 ・その他各種表彰 <p>5. 日本看護協会の連携による会員の福利厚生事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害・慶弔見舞金の支給 ・「年金理解・資産形成」支援サービス、団体保険の周知等 	<p>2,346</p> <p>840</p> <p>149</p> <p>290</p> <p>303</p> <p>239</p> <p>125</p> <p>322</p> <p>75</p> <p>266</p> <p>401</p> <p>125</p> <p>76</p> <p>129</p> <p>86</p> <p>71</p>

報告事項

令和5年度 資金収支予算及び収支予算の概要

本会は、平成24年度からの公益社団法人への移行に先立ち、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準（20年会計基準）を平成23年度から適用しています。公益社団法人は法律上、損益ベースの収支予算書を作成する必要があります。従来から使用してきた「資金収支予算書」の作成は、法律上は任意ですが、公益法人の健全な維持・存続を確保するための予算管理の手段としては資金収支予算書が引き続き有効であることから、本会では、資金収支予算書の作成も会計処理規則で定めて示しています。

令和5年度収支予算では、公益社団法人の要件として本会に求められる次の公益認定財務3基準をクリアできる構成となっています。

- ①**収支相償**：公益目的事業に係る収入がその実施に要する費用を超えないこと
⇒公益目的事業の経常収益計は38,082万円、経常費用計は41,368万円であり、収益が費用を超えない見込みです。
- ②**公益目的事業比率**：公益目的事業会計に係る費用の割合が、収益事業等会計、法人会計費用を加えた事業費全体の50%以上であること
⇒全体の経常費用43,064万円に占める公益目的事業の経常費用計は41,368万円（96%）であり、50%以上となる見込みです。
- ③**遊休財産額**：用途の定まらない蓄積した財産の額が公益目的事業に係る費用の1年分を超えないこと
⇒本会の遊休財産額は、令和5年度末で例年並みの3億円程度になる見込みで、公益目的事業の経常費用41,368万円を超えない見込みです。

令和5年度 資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	予算額等	当年度予算額A	前年度予算額B	増減(A-B)	備 考 [主な増減理由]
事業活動収支の部		△ 14,416	△ 27,317	12,901	
事業活動収入		415,507	461,278	△ 45,771	
特定資産運用収入		3	2	1	
特定資産利息収入		3	2	1	研修センター運営基金・退職積立預金利息
会費等収入		81,450	81,450	0	
会費収入		78,000	78,000	0	会員 6,000名 [対前年増減なし]
入会金収入		3,450	3,450	0	入会者 345名 [対前年増減なし]
事業収入		311,449	331,780	△ 20,331	
事業収入		10,261	16,715	△ 6,454	受講料収入〔委託事業未受託等による減〕
委託金収入		31,659	52,332	△ 20,673	島根県、日本看護協会委託事業収入〔委託事業未受託等による減〕
介護保険利用料収入		154,620	152,199	2,421	訪問看護ステーション事業収入〔介護利用者・回数等の増〕
健康保険利用料収入		113,443	109,068	4,375	訪問看護ステーション事業収入〔医療利用者・回数等の増〕
その他の利用料		1,466	1,466	0	訪問看護ステーション事業収入
補助金等収入		11,657	8,650	3,007	
補助金収入		3,597	600	2,997	訪問看護ステーション支援事業費等補助金〔補助事業増見込等による増〕
助成金収入		8,060	8,050	10	日本看護協会等助成金
寄付金収入		400	400	0	企業からの寄付金
雑収入		1,418	1,030	388	
受取利息収入		324	304	20	預金利息、T&Dホールディング株式会社配当金
雑収入		1,094	726	368	日看協旅費戻り見込み、企業年金保険手数料、貸室料等
他会計からの繰入金収入		9,130	37,966	△ 28,836	積立金等取崩収入〔法人会計〕の公益目的事業会計への繰入

科 目	予算額等	当年度予算額A	前年度予算額B	増減(A-B)	備 考 (主な増減理由)
事業活動支出		429,923	488,595	△ 58,672	
事業費支出		407,467	435,829	△ 28,362	
役員報酬支出		8,480	8,267	213	会長、業務執行理事報酬
職員給料支出		137,777	138,418	△ 641	職員給料
臨時雇用賃金支出		14,687	20,301	△ 5,614	訪問看護ステーション等非常勤職員等賃金(非常勤職員数減等による減)
職員手当支出		69,432	65,933	3,499	通勤手当、賞与、時間外勤務手当等(職員数増等による増)
退職給付支出		3,480	5,256	△ 1,776	職員の退職共済事業掛金及び退職金(定年退職等がないための減)
福利厚生費支出		39,943	37,713	2,230	社会保険料等
旅費交通費支出		9,881	12,430	△ 2,549	研修講師・委員会活動・各種事業協力員・職員旅費(出張等による減)
通信運搬費支出		8,986	8,164	822	郵券料、電話料、宅配業者利用料等(事業増等による増)
消耗什器備品費支出		550	462	88	訪問看護ステーション医療用具、訪問看護車両タイヤ代等
消耗品費支出		9,378	8,415	963	コピー用紙代、事務用品代等
修繕費支出		13,775	40,525	△ 26,750	施設設備保全・訪問看護車両修繕費等(本館外壁改修工事終了による減)
広告宣伝費支出		478	655	△ 177	新聞等広告費
印刷製本費支出		6,828	7,882	△ 1,054	協会機関紙・教育計画・各種研修報告書等印刷費
燃料費支出		2,860	2,760	100	訪問看護車両燃料代
光熱水料費支出		10,779	7,125	3,654	研修センター・訪問看護ステーションの電気料金等(電気料金増等)
使用料及び賃借料支出		34,507	33,190	1,317	事務機器等リース物品賃借料、研修会場使用料等
図書新聞費支出		611	649	△ 38	書籍・新聞代等
保険料支出		3,132	3,012	120	建物火災・役員等傷害・訪問看護車両任意保険料
諸謝金支出		7,100	11,235	△ 4,135	研修講師謝金(委託事業による研修未定等による減)
渉外費支出		412	375	37	訪問看護利用者への供花料等
食糧費支出		1,105	1,116	△ 11	研修講師・協力員・委員会委員昼食代等
租税公課支出		7,029	5,177	1,852	消費税、訪問看護車両自動車税、収益事業に係る法人税等
負担金支出		1,694	1,918	△ 224	研修参加費負担金、協会・訪問看護ステーション加入団体会費等
助成金支出		0	533	△ 533	人権研修他団体助成金〔単年度事業〕
寄付金支出		60	70	△ 10	訪問看護ステーション災害時寄付金
委託費支出		12,569	12,382	187	研修センター・訪問看護ステーション清掃等
衛生材料費支出		1,207	1,060	147	訪問看護ステーション衛生材料費
雑費支出		727	806	△ 79	口座振込手数料、訪問看護事業雑費等
管理費支出		13,326	14,800	△ 1,474	
役員報酬支出		3,638	4,376	△ 738	会長、業務執行理事、非常勤理事、監事報酬
職員給料支出		3,054	3,021	33	職員給料
職員手当支出		1,380	1,964	△ 584	通勤手当、賞与、時間外勤務手当他
福利厚生費支出		1,361	1,340	21	社会保険料、健康診断料他
総会費支出		2,346	2,506	△ 160	通常総会開催経費
理事会費支出		840	897	△ 57	理事会・常任理事会・監査会開催経費
旅費交通費支出		673	663	10	日本看護協会通常総会予備代議員参加等旅費
保険料支出		0	0	0	〔役員損害賠償責任保険料〕
渉外費支出		21	20	1	手土産代・電報料等
租税公課支出		1	1	0	印紙税
雑費支出		12	12	0	口座振込手数料
他会計への繰入金支出		9,130	37,966	△ 28,836	積立金等取崩(法人会計)の公益目的事業会計への繰出

科 目	予算額等	当年度予算額A	前年度予算額B	増減(A-B)	備 考 (主な増減理由)
投資活動収支の部		△ 11,513	19,763	△ 31,276	
投資活動収入		9,130	37,966	△ 28,836	
積立金等取崩収入		9,130	37,966	△ 28,836	
研修センター運営基金取崩収入		9,130	36,300	△ 27,170	本館外壁改修工事費用の取崩収入
退職積立金取崩収入		0	1,666	△ 1,666	年度未定年退職職員の退職金の取崩収入
投資活動支出		20,643	18,203	2,440	
積立金等積立支出		19,002	17,902	1,100	
研修センター運営基金取得支出		12,000	12,000	0	研修センター運営基金への積立支出(会員 6,000名×2千円)
退職積立金取得支出		6,501	5,401	1,100	正規職員退職引当金積立預金への積立支出(預金利息を含む)
施設整備積立預金取得支出		1	1	0	施設整備積立預金利息の積立支出
特定費用準備資金積立預金取得支出		500	500	0	特定費用(創立50周年記念事業)準備資金積立預金への積立支出
固定資産取得支出		1,641	301	1,340	
車両運搬具取得支出		0	0	0	〔訪問看護車両購入費の減〕
什器備品取得支出		1,640	300	1,340	什器備品(事務室備品)の購入支出
訪問看護積立預金取得支出		1	1	0	訪問看護積立預金利息の積立支出
リサイクル料預け金支出		0	0	0	〔訪問看護車両購入に係るリサイクル料の減〕
財務活動収支の部		△ 1,035	△ 1,023	△ 12	
財務活動収入		0	0	0	
財務活動支出		1,035	1,023	12	
リース債務支出		1,035	1,023	12	フルカラー高速プリンター(300万円超物品)リース料
当期収支差額		△ 26,964	△ 8,577	△ 18,387	
前期繰越収支差額		0	0	0	
当期繰越収支差額		△ 26,964	△ 8,577	△ 18,387	

F A X 送 信 票

令和5年度公益社団法人島根看護協会通常総会について参加できない会員の皆さまから、通常総会提案議題についての質問を募集します。また看護協会に対してのご意見やご要望等がある場合もあわせて、この用紙に記載し、F A X 送信をお願いいたします。

F A X 送信先：公益社団法人島根県看護協会 事務局

F A X 番 号：0852-25-3157

F A X 送信者氏名： _____

通常総会提案議題についての質問

ご意見、ご要望等の記入欄

島根県立大学と包括的連携協定を締結しました

公益社団法人島根県看護協会は、公立大学法人島根県立大学と、包括的連携に関する協定を締結することになり、4月27日(木)に調印式が行われました。この連携協定により、島根県の看護職に対する卒業後教育や、地域の保健医療課題の解決や発展に関する取り組みが一層進むことを期待します。



2023年度「看護の日・看護週間」事業

PRバス運行 出前授業

進学ガイダンスを行いました。



5月9日(火)「看護の日」の事業を行いました。県庁前PRバス出発式には丸山知事、川合看護連盟会長にご臨席いただき、育英幼稚園つき組さんによるダンスと歌と記念撮影の後、バスは松江市立湖東中学校、出雲市立大津小学校、県立大社高校を訪れ、それに合わせて出前授業、進学ガイダンスを行いました。



出発の様子



東洋羽毛創業70周年の記念品として車いすが贈呈されました。



ありがとうございます。大切に使用させていただきます。



お知らせ

INFORMATION

令和5年度 島根県看護協会通常総会

日時: 令和5年6月17日(土) 13:30~16:00
会場: ビッグハート出雲 白のホール(出雲市駅南町)

令和5年度 島根看護協会職能別交流集会

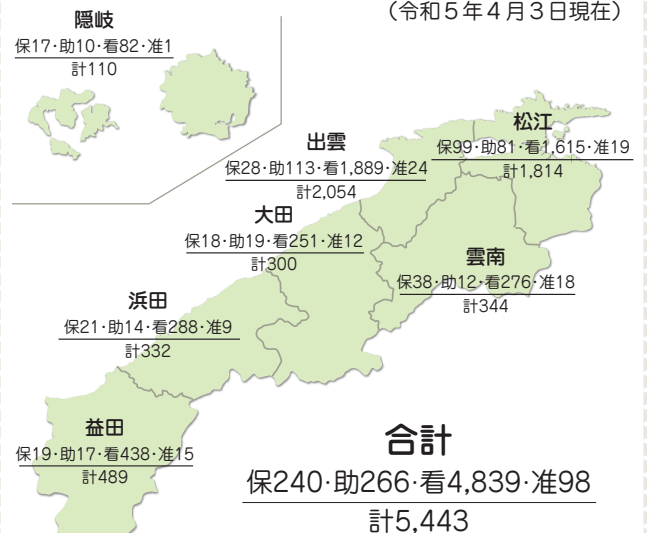
日時: 令和5年6月17日(土) 10:00~12:00
会場: 保健師職能集会 パルメイト(出雲)ホール
助産師職能集会 ビッグハート出雲 茶のスタジオ
看護師職能I集会 出雲医療看護専門学校(講堂)
看護師職能II集会 出雲医療看護専門学校(視聴覚室)
会員、非会員を問わず、看護職どなたでも参加できます。

島根県看護協会 第16回島根看護学術集会

日時: 令和5年7月8日(土) 10:00~15:00
会場: ビッグハート出雲
メインテーマ
「看護実践を紐解く～振り返る力・見つめる力～」
特別講演
テーマ: 「ケアの意味を見つめる事例研究」
講師: 野口麻衣子准教授 東京医科歯科大学
一般演題発表

支部別・職能別会員数(合計)

(令和5年4月3日現在)



編集後記

爽やかな季節となりました。新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が2類から5類に引き下げられ、私たちの生活様式や活動範囲が変化してきました。身近な感染対策に対応していくために「新たな生活習慣」等も提示されました。基本的な感染対策を行いながら、楽しみを増やしていきたいと思っています。

